

SigmaSystemCenter 3.10 Release Notes

Published: 2021/Apr/28, Document Edition 1.0

Welcome to SigmaSystemCenter 3.10

Release Name

SigmaSystemCenter 3.10

Release Date

2021/Apr/28

Internal Revision

r36007

SigmaSystemCenter はマシン、ストレージ、ネットワークの統合管理ソフトウェア製品です。主に中規模、大規模ITシステム管理者向けのIT環境の統合管理ツールであり、複雑化したITシステムを抽象化し、構成変更や管理作業を容易に実行します。

SigmaSystemCenter 3.10 は企業がプライベートクラウドとパブリッククラウドを活用し機敏なビジネス活動をおこなうことを支援します。

SigmaSystemCenter は SystemProvisioning, DeploymentManager, SystemMonitor性能監視, ESMPRO からなるスイート製品です。

About This Document

本書は、SigmaSystemCenter 3.10 における変更点を中心に記述したリリースノートです。機能や設定の詳細については関連文書、マニュアルを参照してください。ここに記載している情報は、通知することなく変更される可能性があります。

- What's New
- 3.10 Release Notes

What's New

SigmaSystemCenter 3.10 は、コンテナやパブリッククラウドを管理するための機能強化・改善、および、これまでに検出された問題の修正を行っています。主な変更点は以下の通りです。

- パブリッククラウド管理
 - パブリッククラウドで作成された仮想マシンの下記情報を収集し、閲覧できるようになりました。(＃24116)
 - 仮想マシンの死活状態
 - 死活状態のイベントを基にポリシーを作成することができます。標準ポリシー「標準ポリシー(クラウドインスタンス)」を追加しました。
 - 仮想マシンのDNS名
 - 仮想マシンのIPアドレス
 - 仮想マシンに設定したタグ情報
 - タグ情報でマシンを検索することができます。
- Webコンソール
 - [運用]ビューに、下記の機能を追加しました。(＃23399)
 - 全ホストの一覧表示
 - 全グループのプロパティ設定のファイルダウンロード
- VM管理
 - 仮想マシンの仮想NICの接続先のネットワークとして、VMware NSX-T Data Centerの論理スイッチ / セグメントを選択できるようになりました。(＃23682)
- Policy と Action
 - vCenter Server Appliance (vCSA) を管理対象とする環境に即した標準ポリシーを追加しました。SigmaSystemCenter 管理下のVMware ESXi上で動作する仮想マシンにvCenter Server Appliance (vCSA) を導入する場合は、ポリシー名に“vCSA”が記載された標準ポリシーの利用を推奨しています。(＃24102)
 - iLOが検出するアラートのうち、SNMP Trapに対応していないIMLイベントについてもポリシーアクションの対象となりました。(＃21508)

Legal Notices

Copyright (C) NEC Corporation 2003–2021.

NEC SigmaSystemCenter, SigmaSystemCenter, MasterScope, EXPRESSCLUSTER, SIGMABLADE and ProgrammableFlow are either registered trademarks or trademarks of NEC Corporation in the United States and/or other countries.

Microsoft, Active Directory, Windows, Windows Server, Hyper-V, Microsoft Internet Explorer, and SQL Server are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark or trademark of Linus Torvalds in the United States and/or other countries.

Red Hat and Red Hat Enterprise Linux are registered trademarks or trademark of Red Hat, Inc. in the United States and/or other countries.

Intel, Pentium, Itanium, and Xeon are trademarks of Intel Corporation in the U.S. and other countries.

AMD is a trademark of Advanced Micro Devices, Inc.

EMC, VNX, Symmetrix, and CLARiON are registered trademarks of EMC Corporation in the United States and other countries.

VMware, ESX Server, ESXi, vSphere, vCenter Server and vMotion are registered trademarks or trademarks of VMware, Inc. in the United States and other countries.

Citrix, Citrix XenServer, and Citrix XenCenter are registered trademarks or trademarks of Citrix Systems, Inc.

Foundry Networks, FastIron, ServerIron and the 'Iron' family of marks are trademarks or registered trademarks of Foundry Networks, Inc. in the United States and other countries.

BIG-IP is a registered trademark of F5 Networks, Inc. in the United States and/or other countries.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

Mozilla Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation.

All other brands and products used in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective trademark holders. The (R) and TM marks are not explicitly in this document.

Term & Definitions

(#xxxxx)

内部トラッキング番号

Related Information

- 製品情報:
 - <http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/>
 - SigmaSystemCenter 3.10 ファーストステップガイド
 - SigmaSystemCenter 3.10 インストレーションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.10 コンフィグレーションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.10 リファレンスガイド
 - SigmaSystemCenter 3.10 仮想マシンサーバ(ESX/ESXi)プロビジョニングソリューションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.10 クラスタ構築手順
 - SigmaSystemCenter 3.10 sscコマンドリファレンス
 - SigmaSystemCenter 3.10 Web API リファレンス

3.10 Release Notes

このドキュメントでは SigmaSystemCenter 3.10 の変更点について記述します。

SigmaSystemCenter 3.10 は 3.9 に対する品質強化や機能強化をしたリリースです。

製品構成

SystemProvisioning

全体のオーケストレーション機能として、プロビジョニング機能やポリシー機能を提供します。SystemProvisioning のバージョンは 6.9 から、6.10 になりました。

SystemProvisioning のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/Provisioning/> で接続できます。

DeploymentManager

Windows, Linux のデプロイメント機能を提供します。DeploymentManager のバージョンは 6.9 から、6.10 になりました。

DeploymentManager のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/DPM/> で接続できます。

SystemMonitor性能監視

マシン性能値の監視機能を提供します。SystemMonitor性能監視 のバージョンは 5.13 から、5.14 になりました。

ESMPRO

マシン監視管理機能を提供します。マネージャとしての ESMPRO/ServerManager とエージェントとしての ServerAgent、もしくは、ServerAgentService で構成されます。各エージェントは、マシン依存部を持つため、SigmaSystemCenter の媒体には含まれていません。NEC Express5800シリーズにバンドルされています。

ESMPRO/ServerManager のバージョン は 6.44 から、6.51 になりました。

製品体系とライセンススキーム

本章は SigmaSystemCenter の製品体系とライセンス体系について記載します。

Edition

管理台数や機能により、以下のエディションを用意しています。

- Basic Edition

- Standard Edition
- Enterprise Edition

日本市場向けは日本語版、海外市場向けは英語版で構成します。

海外市場向けには、Enterprise Edition は存在せず、代わりに Enterprise License を提供しています。

また、VirtualPCCenter の基盤として VPCC Edition ライセンスを定義しています。VPCC Edition の製品構成は Standard Edition と同じです。

SigmaSystemCenter 3.2 からメディアキット の提供を開始しました。メディアキットはインストール媒体のみでライセンスは含まれていません。(＃13386)

SigmaSystemCenter 3.6 からすべてのライセンスの送付を電子化しました。(＃19757)

Basic Edition

Basic Edition は追加可能なターゲットライセンス数を8台に限定したエディションです。VMホストソケットライセンスを適用する場合、8台までのマシンを管理できます。

製品構成は Standard Edition と同じで、全ての機能を使用することができます。

Standard Edition へのアップグレードが可能です。

Standard Edition

Windows / Linuxサーバ、Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 クライアントのOSを対象とし、サーバOSは100台まで、クライアントOSは4000台までのターゲットライセンスを追加可能な中規模システム向けの Edition です。サーバ、ストレージ、ネットワーク、VMの構成制御機能を搭載。さらにサーバ統合、クライアント統合の両立が可能となります。

Standard Edition でVMの構成制御をおこなう場合は、仮想サーバ管理オプションが必要です。

Enterprise Edition

追加可能なターゲットライセンス数に制限のない大規模システム向けのエディションです。Standard Edition の機能に加え、以下の違いがあります。

- 仮想サーバ管理オプションが含まれます。
- コンテナ管理オプションが含まれます。
- 10台分の Network Appliance Control オプションが含まれます。
- Cisco UCSの制御管理が可能です。(＃9764)
- PFC Controlオプションが含まれます。(＃19157)

なお、海外版では Enterprise License として提供されます。

Management Server License

各Edition製品には、一つの Management Server License が定義されます。これをBaseライセンスや本体ライセンスと呼称します。

管理サーバには一つの本体ライセンスが必要です。

管理サーバを追加するために、同じ目的のシステムで使用できる、管理サーバ追加ライセンスが定義されています。

新規インストール後60日間は、全機能を利用可能な試用版として使用することができます。(＃15613)

Enterprise License

海外版では、Enterprise License が Enterprise Edition の代替として定義されています。Enterprise Licenseは管理サーバライセンスの一種です。これを入れることにより、Enterprise Edition 相当の追加可能なターゲットライセンス数、オプションが有効になります。

Option License

管理サーバ毎に必要なオプションライセンスを定義しています。オプションライセンスは SigmaSystemCenter の機能を有効にするために必要なライセンスです。

仮想サーバ管理オプション

- 仮想化環境、および、パブリッククラウドの管理機能を有効にします。Enterprise Edition に同梱されています。

コンテナ管理オプション

- コンテナの管理機能を有効にします。Enterprise Edition に同梱されています。

PFC Control オプション

- プログラマブルフローコントローラの管理機能を有効にします。Enterprise Edition に同梱されています。

管理サーバクラスタライセンス

- 管理サーバをクラスタ構成で運用する場合に必要なライセンスです。本ライセンス1つで、1台の待機系サーバに適用可能です。

管理対象ライセンス

管理対象マシンごとにライセンスが必要です。

ターゲットライセンス

SigmaSystemCenter 3.0以降、OSの種類ごとに分かれていたターゲットライセンスを統合しました。SigmaSystemCenter 3.0以前は、OSの種類ごとにターゲットライセンスが必要でしたが、共通のターゲットライセンスが使用できます。これにより、Windows から Linux へマシンを用途変更する場合に2つのライセンスを用意する必要がありません。(＃4498)

ホストソケットライセンス

- ホストソケットライセンスはCPUのコア数に依存し、以下の4種類のライセンスがあります。SigmaSystemCenter 3.4から、“(17-32Core) ライセンス”を追加しました。(＃16039)
 - VMホストソケット (1-8Core) ライセンス
 - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス
 - VMホストソケット (17-32Core) ライセンス
 - VMホストソケット (無制限) ライセンス
- VMを管理する場合に、VMホストソケットライセンスとターゲットライセンスを混在させた運用ができます。設定方法や使用条件について、お問い合わせください。VMホストソケットライセンスを使用する場合に全てのVMサーバにソケットライセンスを適用する必要がありました。VMと物理マシンが統合管理される場合のライセンス混在は従来どおりサポートされています。(＃12183)
- ホストソケットライセンスは、パブリッククラウドのマシンを管理する場合にも必要となります。パブリッククラウドマシンを管理する場合には、以下のライセンスを選択してください。1ライセンスあたり、10台までのパブリッククラウドマシンを管理することが可能です。
 - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス

その他のライセンス

- Differential Clone でVMを作成する場合、ホストソケットライセンスやターゲットライセンスを適用していても、VMの数分だけ Differential Clone オプション が必要です。
- ソフトウェアロードバランサ(LVS, NEC InterSecVM/LB)とファイアウォールアプライアンスの制御には Network Appliance Control オプション が必要です。Enterprise Edition には 10台分の使用許諾が含まれています。なお、Network Appliance Control オプション は Software Load Balancer オプション から名称が変更されたオプションです。(＃14183)

Install

必要システム構成

インストールの前に、お使いのコンピュータが必要システム構成を満たしているか確認してください。詳しくはファーストステップガイド 3章 動作環境 を参照してください。

管理サーバ

最小ハードウェア構成

CPU	2CPU以上
メモリ容量	2GB以上
ディスク容量	13GB以上
NIC	1Gbps以上

推奨ハードウェア構成

CPU	4CPU以上
メモリ容量	8GB以上
ディスク容量	60GB以上
NIC	1Gbps以上

OS

- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2019 Datacenter
- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2016 Datacenter
- Windows Server 2012 R2 Standard
- Windows Server 2012 R2 Datacenter
- Windows Server 2012 Standard
- Windows Server 2012 Datacenter

必須ソフトウェア

- .NET Framework 4.7.2、または 4.8
- IIS 8.0 以降
- ASP.NET 4.5、4.6、または 4.7
- 以下のいずれかのデータベースソフトウェア(バージョンは後述)
 - PostgreSQL
 - Microsoft SQL Server

アップグレード

SigmaSystemCenter 1.x からの直接のアップグレードはサポートしません。SigmaSystemCenter 1.x からは SigmaSystemCenter 3.1 Update 1 を経由したアップグレードをサポートします。

SigmaSystemCenter 2.x からアップグレードする場合、ESMPRO/SM を ESMPRO/SM Ver.4からVer.5に更新しておく必要があります。(＃17118)

Runtime Environment

.NET Framework

.NET Frameworkが SigmaSystemCenter の動作環境として使われています。SigmaSystemCenter 3.10 は .NET 4.7.2 以降 を使用しています。

Java実行環境

Java実行環境は DeploymentManager で以下をおこなう場合に必要となります。
(SigmaSystemCenter 3.2 から JRE の同梱を廃止しました。)

- Linux用のOSクリアインストール用パラメータファイルの作成
- Linux用のディスク複製OSインストール用パラメータファイルの作成
- PackageDescriptor を使用したパッケージの作成

詳細は以下の製品Webサイトで公開されている「WebSAM DeploymentManager Java実行環境構築手順書」を参照してください。
<https://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>

IIS

SigmaSystemCenter 3.10 は IIS 8.0 以降 をサポートしています。

Database

データベースは SigmaSystemCenter が管理するIT環境の構成情報や設定を保存するために使われます。
PostgreSQL 12 x64 および Microsoft SQL Server 2019 Express x64 が製品にバンドルされています。
Microsoft SQL Server を使用する場合、デフォルトのDBインスタンス名は SSCCMDB と DPMDBI です。
サポートするDBMSは以下のとおりです。

- PostgreSQL 12.x (64bit)
- PostgreSQL 11.x (64bit)
- PostgreSQL 10.x (64bit)
- PostgreSQL 9.6.x (64bit)
- PostgreSQL 9.5.x (64bit)
- Microsoft SQL Server 2019
- Microsoft SQL Server 2019 Express
- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2017 Express
- Microsoft SQL Server 2016 SP2
- Microsoft SQL Server 2016 SP2 Express
- Microsoft SQL Server 2016 SP1
- Microsoft SQL Server 2016 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2016 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP2
- Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP1
- Microsoft SQL Server 2014 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2014 Express
- Microsoft SQL Server 2012 SP1
- Microsoft SQL Server 2012 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2012
- Microsoft SQL Server 2012 Express

Browser

SigmaSystemCenter 3.10 では下記のブラウザで動作確認をおこなっています。

- Microsoft Internet Explorer 11 (#19004, #14303)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge (#23960, #23934)
- Microsoft Edge レガシー版(#17525)
- Google Chrome (#22347)

Resource Specific Information

本章は SigmaSystemCenter 3.10 リリースでサポートされるハードウェアや基盤についての情報を記載します。

管理対象 OS

管理対象マシンのOSとして以下のサポートを終了しました。

- Red Hat Enterprise Linux 5 (#19593, #23023)

仮想化基盤

管理対象の仮想化基盤として以下のサポートを終了しました。

- vSphere 5.5 (#21909, #23026)

一般的なシステム管理

VM管理

VMware

- vSphere環境で数千個の仮想ポートグループがある環境における収集操作のメモリ使用量を削減しました。(＃21189)
- 仮想マシンの仮想NICの接続先のネットワークとして、VMware NSX-T Data Centerの論理スイッチ / セグメントを選択できるようになりました。(＃23682)
- vSphere 7 Update 1で追加されたvSphereクラスタ サービス(vCLS)の影響を受けずにvSphere環境を管理できるように対応しました。SigmaSystemCenterからvCLS用の仮想マシンアプライアンスの参照/操作を行うことはできません。(＃23901)
- vCenter Server Appliance (vCSA)のみが存在する vSAN クラスターのシャットダウンが失敗する問題を修正しました。(＃24062)
- vCenter Server と ESXi のサブシステムを種別の異なるサブシステムの情報で更新できる問題を修正しました。(＃23944)

Hyper-V

- Windows Server 2012 Hyper-V (Hyper-V 2012) 以降の環境で、仮想マシンやテンプレートを作成すると、フェールオーバー クラスタマネージャー上の表示が不正となる問題を修正しました。(＃24115)

パブリッククラウド

- パブリッククラウドで作成された仮想マシンの下記情報を収集し、閲覧できるようになりました。(＃24116)
 - 仮想マシンの死活状態
 - 死活状態のイベントを基にポリシーを作成することができます。
 - 仮想マシンのDNS名
 - 仮想マシンのIPアドレス
 - 仮想マシンに設定したタグ情報
 - タグ情報でマシンを検索することができます。
- Workload Managerを2つ以上サブシステムに登録した場合、どれか一つの情報しか収集できない問題を修正しました。(＃24044)

Deployment と Provisioning

Deployment

DeploymentManager 6.10

- DPMクライアントが、DeploymentManager以外からの通信を受信した場合、自動更新、ファイル配信機能が実行できなくなる現象を改善しました。(＃23919)

- 複数の管理対象マシンに一括でファイルを配置できる機能を提供しました。ファイル配置の前後には任意のコマンドを実行することも可能です。(＃23164)
- SQL Serverのポートをデフォルトから変更している環境で、データベース設定ツール(DPMDBIConfig.exe)を実行すると、データベースヘアクセス不可となる事象を改善しました。(＃24079)

Policy と Action

- vCenter Server Appliance (vCSA) を管理対象とする環境に即した標準ポリシーを追加しました。VMware ESXiが管理する仮想マシンにvCenter Server Appliance (vCSA) を導入する場合は、ポリシー名に“vCSA” が記載された標準ポリシーの利用を推奨しています。(＃24102)
- iLOが検出するアラートのうち、SNMP Trapに対応していないIMLイベントについてもポリシーアクションの対象となりました。(＃21508)
- 簡易構築ガイド用のポリシー(仮想マシンサーバ VMware)について、vCenter Server Appliance (vCSA) を管理対象とする環境を前提としたポリシーに変更しました。(＃24025)
- 簡易構築ガイド用のポリシー(仮想マシンサーバ VMware/Hyper-V)のポリシー規則「予兆:電源装置異常」、「予兆:ファン/冷却装置異常」について、電源装置、ファンが冗長化された環境を前提として、障害発生時に仮想マシンを移動しないように変更しました。(＃24025)

UI と API

Webコンソール

- [運用] ビューに、下記の機能を追加しました。(＃23399)
 - 全ホストの一覧表示
 - 全グループのプロパティ設定のファイルダウンロード
- サポート対象のブラウザにChromium版のMicrosoft Edgeを追加しました。(＃23960, #23934)

その他

- 権限「ソフトウェア再配布」を付与したユーザの複数対象のソフトウェア再配布の操作が、異常終了する問題を修正しました。(＃23997)
- 用途変更操作で変更先に参照権限のないグループを表示する問題を修正しました。(＃24003)
- 権限を付与していないユーザの当該操作が、異常終了しない問題の修正しました。(＃23986, #23996)
 - メンテナンスモード切り換え
 - バックアップ
 - リストア
- 権限「マスタマシン登録」を付与したユーザのホスト設定指定なしのマスタマシン登録の操作が、異常終了する問題を修正しました。(＃23998)
- 権限「全般設定」を付与していないユーザのホスト設定の全般タブ更新の操作が、異常終了しない問題を修正しました。(＃24000)

Database

- 利用可能なデータベースとして PostgreSQL 12 に対応しました。PostgreSQL 12 は製品にバンドルされます。(＃22971)
- データベースのデフォルトをPostgreSQLに変更しました。(＃23714)
この変更に伴い、サイレントインストール時のオプション指定の内容にも変更があります。詳細は以下をご確認ください。「SigmaSystemCenter 3.10 インストールガイド」-「2.4. 管理サーバコンポーネントを一括でインストールする」-「2.4.1 インストールを実行するには」

Copyright

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product contains Microsoft SQL Server Express, which is distributed by Microsoft Corporation without charge. Use these products after accepting their license agreements. For details of copyright and ownership rights, refer to the following license files: <folder where Microsoft SQL Server Express is installed>\License Terms

Some icons used in this program are based on Silk Icons released by Mark James under Creative Commons Attribution 2.5 License. Visit <http://www.famfamfam.com/lab/icons/silk/> for more details.

This product includes software developed by Routrek Networks, Inc.

Copyright (c) NEC Corporation 2003–2021. Version: 3.10–36007, SystemProvisioning 6.10.0008